

歴博 暮らしの植物苑だより

第8回 日本の植物文化を語る 6月24日(土) 13:30~ 本館講堂 入場無料

『近世都市江戸の環境史—水と花とゴミ』 谷川章雄 早稲田大学

第92回 暮らしの植物苑観察会 7月22日(土) 13:30~ 暮らしの植物苑

『植物をめぐる禁忌』 篠原 徹 本館民俗研究系

咲いている花:

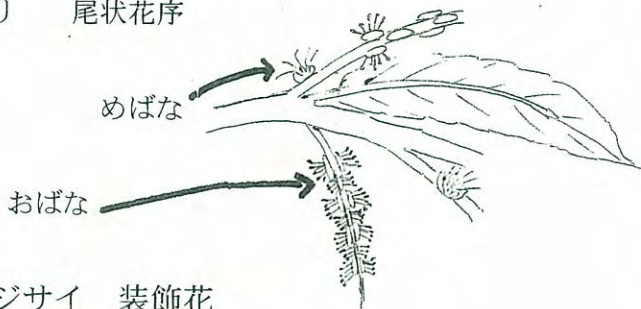
畑 ジャガイモ トウガラシ

樹木 花:ミヤギノハギ クリ サンザシ ザクロ シナノキ アジサイ アマチャ ヒメアジサイ

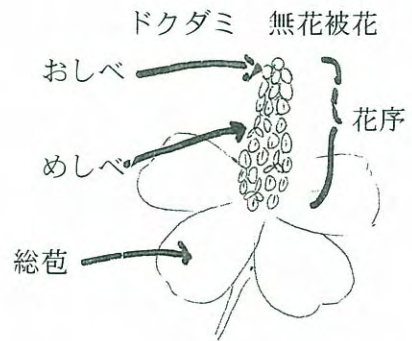
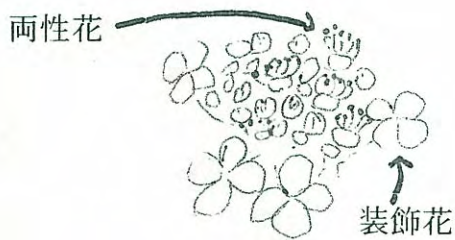
草本 花:アサザ スイレン ドクダミ

花の構造をみよう その1

クリ 尾状花序



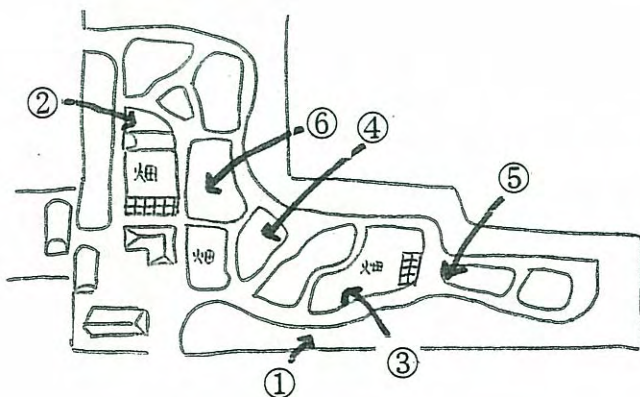
アジサイ 装飾花



暮らしの植物苑だよりNo.110, No.111
に紹介した花です。

花の作図は説明の為に誇張し、正確差
を欠きます。

今週の見どころ



- ① ヤブニッケイ
- ② ミヤギノハギ
- ③ ガクアジサイ
- ④ アサザ
- ⑤ ザクロ
- ⑥ シナノキ

① ヤブニッケイ (クスノキ科クスノキ属)

福島以南に分布する常緑高木で、新しい小枝に淡黄色の小さい花をつけます。冬に果実が黒紫色に成熟し、鳥が好んで食べます。ニッケイのような芳香はあまりありません。観賞用や防風林に植えられています。材は緻密で硬く、家具や薪炭にも使われています。



② ミヤギノハギ (マメ科ハギ属)

野生はなく、公園・庭園に植栽されています。ケハギの園芸品種で開花期がヤマハギよりも早く咲きます。ケハギは開出する枝に毛があること。ヤマハギは枝に毛が無く、萼の先に丸みのあることから区別できます。乾燥根を煎じてのぼせやめまいの薬として用います。



③ ガクアジサイ (ユキノシタ科アジサイ属)

梅雨の花といえばアジサイです。アジサイは日本原産の植物でシーボルトが妻の名をとり、*Hydrangea otaksa* とつけたことは有名です。苑にはアジサイ、ガクアジサイ、ヒメアジサイなど数種が植えられています。アジサイは園芸品種が多数つくられていますが、ガクアジサイが原種と言われています。鎌倉時代にはすでに園芸化され、江戸時代には一般的な庭園植物となったといわれます。



④ アサザ (ミツガシワ科アサザ属)

池や沼にはえる多年生の浮葉植物で、地下茎は水底の泥の中にあり、長い葉柄があり葉は水面に浮かびます。花は昼には閉じてしまう1日花です。



⑤ ザクロ (ザクロ科ザクロ属)

観賞・食用・薬用に栽培される落葉小高木で、分枝が多く刺があります。果実は食用・果実酒に、また根や果皮を薬用に用います。ザクロは果実を鬼子母神に奉納したり、地方によりこの木を病人が絶えないなど凶として家に植えるのを嫌うところや、家内繁盛・子宝に恵まれるなど吉として植えるところがあります。



⑥ シナノキ (シナノキ科シナノキ属)

山地に自生する落葉高木で葉はやや円心形で、下垂性の散房状集散花序を葉腋から出し、小さい淡黄色の花をつけます。材は軟質のため彫刻や割り箸などに使われ、樹皮は繊維が強く耐水性があり、縄、畳糸、粗布(シナ布)を作ったりします。

